

【テーマ設定型寄附】

—全14事業—

寄附者様がテーマを設定した趣旨

株式会社伊藤園

奈良県内の自然・環境・文化財の保全・活用事業

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産と、それらと一体をなす歴史的風土豊かな自然環境に恵まれた地であり、その美しい景観を守り育てていかなければなりません。そのために県民・事業者・行政の適切な役割分担と協働を行い、地域を活性化し、豊かな生活を引き継いでいく為に支援キャンペーンを行います。奈良県で本キャンペーンについて広く周知し、奈良県内の自然・環境・文化財の保全や活用、およびこの事業に伴う地域活性化への貢献についての認知・理解促進に取り組み、支援への賛同を募る趣旨となります。



平成 28 年 3 月 15 日 寄附受領式

イオングループ

奈良の文化遺産やまちなみの保全

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄附し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思います。



平成 28 年 6 月 7 日 寄附受領式

大和信用金庫

大和川水系の水環境改善

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD(生物化学的酸素要求量)値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと思います。



平成 28 年 7 月 13 日 寄附受領式

財団法人奈良県青少年会館

青少年の健全育成

当会館の解散に伴い、その残余財産を県内の青少年の健全育成を支援するために寄附します。具体的には、青少年によるボランティア活動や社会貢献活動など青少年の主体的な活動に役立てていただきたいと思います。

※寄附受領日は平成 27 年 6 月 16 日。解散に伴う寄附のため、寄附受領式は実施せず。

宇陀松山華小路

補助金額
300,000円

補助事業の背景と目的

ダリアの球根は奈良県が生産量日本一を誇ります。その事実を知らない人が多いため、この事業を始めました。生産者と良好な関係を築くため、花を購入しイベントの実施を行っていますが、安定的な財源を持たないため、補助金申請を行い、この事業実施の原資を確保しました。

補助事業の実施内容

美しい景色の中に色鮮やかなダリアを並べる作業を地元や飛び入りの来訪者で行い、質の高い交流を図るとともに、子連れ客の便宜を図り（休憩・おむつ交換・ミルクのお湯・託児）、ダリアファンのすそ野を広げられるような事業を実施しました。



▲ライトアップ風景

補助事業の成果と今後の活動に向けて

若年層の参加が多く見られ、継続による固定客と、そのお客様が人を呼び、徐々に参加の輪が広がってきています。一層、この事業の継続に努め、奈良・宇陀といえばダリアと町並みというイメージを定着させ、生産者へのエールを送りたいです。



▲路地完成

寄附者からの声

寄附者：株式会社伊藤園

弊社の寄附の趣旨に賛同し、歴史的町並みを宇陀の名産ダリアで彩る事業を実施いただきありがとうございます。今後も美しい町並みの保全に向けた事業の発展を期待いたします。

団体名 宇陀松山華小路実行委員会

所在地 宇陀市大宇陀下出口2266番地

活動の様子
(華小路作成活動)



【団体の設立経緯・目的】

ダリアの花を歴史的町並みの路地に並べて、宇陀の名物をPRし、まちづくりに寄与するため

【団体の主な活動の内容】

宇陀松山華小路の実施と、それにかかるまちづくり活動

テーマ設定型

寄 附 者：イオングループ

テ ー マ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

観光地散策路周辺の倒壊危険木調査方法の開発－吉野山の場合－

補助金額
500,000 円

補助事業の背景と目的

街路樹の倒木による人身事故、車両事故等が多発しその危険性が社会問題化し、危険木調査が進められています。観光地散策路周辺の樹木に対しては、十分な関心が寄せられていません。多くの観光客が来訪する、自然豊かな地域や寺社の境内などを散策する際に、平坦地を含め、傾斜地のある山地においては樹木の枝折れ、倒木の危険性が増大します。そこで散策路に適応できる調査方法について検討しました。

補助事業の実施内容

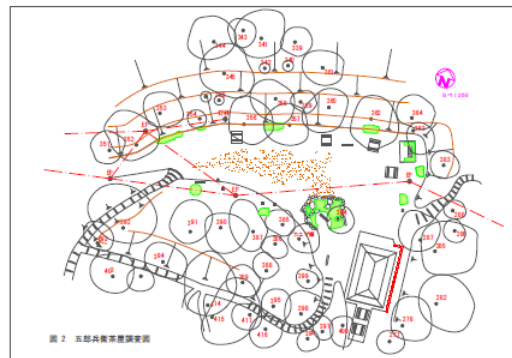
街路樹に関する倒木対策の手引書や危険木調査票などについて、吉野山の観桜者が多く訪れる「五郎兵衛茶屋」「如意輪寺上」の2か所を調査地を選び、「簡易調査票」「詳細調査票」「危険木調査票」の有効性を検討するための現地適応を行いました。また対象地内に生育する桜樹の位置および樹冠投影図を作成するとともに調査結果を踏まえて、観光地散策路に適合できるよう改良すべき点を洗い出しました。



▲調査の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

吉野山観光地散策路周辺桜樹林の簡易調査（だれでも簡単に健全性の判定が出来る調査項目）→詳細調査（簡易調査票判定結果から、より詳細な調査が必要な樹木を選別）→危険木調査（詳細調査票の結果から、倒壊・折損危険木を自然生態系をも加味した伐倒の必要性、対策を検討可能な項目）へと進展させる手法を用いた結果、利用者が自由に利用できる空間環境の減少、景観の悪化、本来の樹木の機能や効用の制限に留意することが重要とわかりました。生物多様性を十分考慮した取り扱い・維持管理方法の一助となることを期待します。



◀調査図

寄附者からの声

寄附者： イオングループ

吉野山の桜樹林について、倒木などの調査を実施し、安全な観光地散策路を維持する活動に「古都ならWAON」カード寄付金をご利用いただきありがとうございます。自然を守り安全を確保する管理の活動を継続ください。

団体名 樹木環境研究会議

所在地 奈良市平松 3-20-14

活動の様子
(街路樹調査)



【団体の設立経緯・目的】

樹木医の知識と技術を活用して、県内の巨樹・名木等を含め、広く環境保全に寄与する事を目的とします。

【団体の主な活動の内容】

樹木の診断治療、森林等の保全、樹木文化の継承と普及啓発に関する活動等を地域住民と連携し行っています。

寄附者：イオングループ
 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

椿井史跡公園

補助金額
500,000円

補助事業の背景と目的

椿井の史跡周辺や耕作放棄地に竹や雑木が広がり、タケノコを狙ったイノシシが里山の畑まで荒らすので、その元凶となる竹を伐採していましたが、竹は切った後からまた生えてきて、竹を切るだけの史跡整備に限界を感じていました。竹林伐採後の空き地を開墾して桜の木を植樹し、史跡を含む里山全体を桜の名所にするため、新たな観光客の誘致と史跡保全活動、地域の活性化を目的としました。

補助事業の実施内容

宮山古墳の横、椿井城登城口近くの竹藪のゴミや廃棄物を処理し、石は重機で掘り起こし土中深く埋め戻して、大岩は体裁よく並べてテーブルと椅子にしました。土中にはびこった竹や草、雑木の根を掘って取り除き、新しい大量の土砂を入れて整地し、12月に入ると竹灰や飼料を混ぜ込むなど土壌作りをして、厳冬の2月、桜木が成長を止めている時期に30本の若木を植樹しました。また別の高台でも大量の雑木を伐採し開墾して植樹しました。



▲椿井城出城跡の高台に桜苑

補助事業の成果と今後の活動に向けて

桜は5年物の若木を植えたので平成29年4月から花が咲き始め、椿井城跡に登るハイカーが土色もまだ新しい「椿井桜苑」で足を止めて、岩のオブジェで写真を撮っていました。静かな里山を重機で開墾するなど大掛かりな造園工事に物見客が入り替わり現れるので、立ち話に事業の説明をするとみなさま賛同くださり、次々と土地提供の話が広がりました。

今後の活動は竹を伐採して出現した「ナラ枯れ」の立ち木や、すでに倒れて山道や里道をふさいだ枯れ木の処理など、今まで竹が密集して入れなかった奥まで重機を入れて開墾し桜を植樹したいと思っています。また文化遺産や里山の保全活動を次世代に受け継ぐために、桜苑を中心とした「こども桜守」も創設予定です。



▲大岩で作ったイスとテーブル

寄附者からの声

寄附者：イオングループ

「椿井桜苑」の完成おめでとうございました。椿井城跡を中心に里山全体を桜の名所にする計画に「古都ならWAON」カード寄附金をご利用いただきありがとうございます。これからも、里山の保全活動を継続ください。

団体名 特定非営利活動法人うぶすな企画

所在地 生駒郡平群町椿井1360番地

活動の様子
(シンポジウム)



【団体の設立経緯・目的】

文化の発展や地域おこしをするためにイベントを企画・開催します。また他の文化活動を支援します。

【団体の主な活動の内容】

スタンプラリーや奈良県の戦国時代と武将・嶋左近と筒井順慶の周知活動など幅広く活動しています。

テーマ設定型

寄附者：イオングループ

テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

今井町環濠再生事業

補助金額
500,000円

補助事業の背景と目的

今井町の歴史的景観整備を橿原市と地域が進めているなかで、平成28年度において環濠再生工事（公共工事）が本格化しました。それに伴い環濠周辺の生態系の再生を住民中心に実施しました。

補助事業の実施内容

今井町環濠再生に基づく環濠周辺の歴史的景観と生態系の再生や生物多様性の要素を取り入れた活動、アサギマダラ飛来による地域の魅力向上プロジェクトを実施しました。

また、奈良県絶滅種フジバカマの再生、環境教育フィールドへの取り組みの実施とともに環濠絵巻（歴史画）案内板を制作しました。



▲活動の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

今回の事業では、地域住民や地元小学生等との活動により生物多様性を意識した中で、人と自然そして歴史の調和を紡ぐ活動となりました。今後も、今井環濠のもつ歴史的な環境と飛鳥地方の豊かな自然環境を次世代に繋げていく取り組みを実施します。



▲事業の様子

寄附者からの声

寄附者：イオングループ

今井町環濠周辺の景観と生態系の再生活動に「古都ならWAON」カード寄附金をご利用いただきありがとうございます。飛鳥地方の歴史と自然環境を次世代に繋げていく活動を今後も継続ください。

団体名 特定非営利活動法人 ASUKA自然塾

【団体の設立経緯・目的】

所在地 高市郡明日香村雷366-3

飛鳥地域の自然環境と人間生活の調和のとれた都市生活環境の創生及び歴史的景観の保全を目的とします。

活動の様子
(事業所外観)



【団体の主な活動の内容】

飛鳥川再生活動
飛鳥川ホタル観察会

寄附者：イオングループ
 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

「大和の仕事唄」調査研究、記録作成事業、公開講座

補助金額
500,000円

補助事業の背景と目的

奈良県には庶民のあいだで育まれてきた伝承文化（民俗文化）が豊かに存在しますが、それらは古代、中世の歴史遺産に比べて、県民はもとより広く一般に認知されているとは言いがたいです。さらに、それらの伝承文化の基盤であった農山村がきちんとした調査や記録化も十分されないまま消滅しようとしています。本会では、こうした現状にある大和の伝承文化の掘り起こしと、継承・普及のための諸事業を行っています。平成27年度は、消滅の度合いが著しい大和のわらべ唄の記録化を行い『秋篠文化10号』を刊行するとともに、平行して普及・活用を意図した公開事業も実施しました。今回の事業は、わらべ唄とともに、急速に失われつつある大和の仕事唄について、今後の研究、継承と活用のための基礎資料を作成しました。収集音源資料など関係資料を収集して譜面作成等を行い、またいくつかの論考による解説も加えて、大和の仕事唄を集成しました。あわせて、普及のための公開講座・鑑賞会を実施しました。

補助事業の実施内容

特定非営利活動法人奈良芸能文化協会・伝統芸能専門部会が、記録と論考を収録した書籍（CD(音源)付き）を刊行しました。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

従来あまり注目されることがなかった、大和の仕事唄が奈良の文化遺産に位置付けるための基礎資料となったほか、その研究と継承ならびに活用を進展することができました。当会では、資料収集の過程で数回の公開事業を試みており、本事業の完成によって、継承・活用の取り組みも、さらに新たな展開が可能となりました。



▲大和民謡サロン

寄附者からの声

寄附者：イオングループ

伝承文化である「大和の仕事唄」の研究成果が書籍となり刊行されることに「古都ならWAON」カード寄附金を活用いただきありがとうございます。奈良の文化遺産への位置付けをめざし活動を継続してください。

団体名 特定非営利活動法人奈良芸能文化協会

所在地 奈良市西大寺東町2丁目4番1号

活動の様子
(田原の茶摘みうた)



【団体の設立経緯・目的】

大和の伝統芸能や消失のおそれのある民俗芸能の保存と国際交流推進事業、地域、文化振興事業の発信が目的です。

【団体の主な活動の内容】

奈良県の伝統・民俗芸能の調査研究、公開公演事業や市民芸能活動支援事業、国際交流事業文化振興事業

テーマ設定型

寄附者：イオングループ

テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業

「葛城の道」の階段、スロープ改修

補助金額
500,000円

補助事業の背景と目的

「葛城の道」の木製階段、スロープを金属製に替え、より安全安心にハイキングを楽しんでもらえるようにすることで、来訪者を増やし、地域活性化に寄与することを目的とし事業を実施しました。

補助事業の実施内容

木造の階段やスロープを金属製に替え、長期間丈夫に保てることで、安全安心を確保できました。



▲金属スロープ・階段作成

補助事業の成果と今後の活動に向けて

葛城の道をハイキングしている方から、安心して上り下りができ、安全になったと評価を頂いています。おかげで長期にわたり安全を確保する事ができました。今後は継続的に草刈り等の美化活動を行い、多くの方に来ていただけるよう努めます。



▲木製スロープ撤去作業

寄附者からの声

寄附者：イオングループ

「葛城の道」の階段を金属製に変えることにより、安全安心なハイキングができる整備する事業に「古都なら WAON」カード寄附金をご利用いただきありがとうございます。これからも地域のボランティア活動を継続ください。

団体名

かづらき煌ネットワーク

所在地

御所市伏見 472

活動の様子
(かづら
き煌ネッ
トワーク
集会)



【団体の設立経緯・目的】

設立3年経過、会員数140名。葛城地区は神社仏閣が多く点在。活動を通じ誇りうる郷土の活性化に寄与。

【団体の主な活動の内容】

「葛城を知ろう」研修会、葛城古道の整備美化ボランティア、各種イベント開催。葛城地区のPRなどです。

寄附者：大和信用金庫
 テーマ：大和川水系の水環境改善事業

「大和川水系にいきつく源流を掃除する」

補助金額
20,000円

補助事業の背景と目的

水は森から生まれていることを体験することで大和川水系を意識する動きを創るとともに、人の体はほとんどが水であることを学びます。また、自然と人は共に美しくなっていけることを掃除を通して感じることを目的としました。

補助事業の実施内容

川、山の清掃をし、清掃に伴う水中生物、植物の変化を記録しました。また、杉を使ったリースづくりを通して、大和川が森のはぐくみにつながっているという自然の営みを体験することができました。



▲山の清掃の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

大和川水系の清掃がきっかけで参加者の子どもたちの大和川への意識が高まり、事業後も継続してこの取り組みに参加いただけることになりました。清掃に継続的に取り組むことで大和川水系の水質向上につながると思います。

また、今回の事業の実施を通して「人・金・物・自然」の美しいサイクルの構築が重要だと気づき、新たなビジネスアイデアを生むことができました。

さらに今後は今回の事業の成果を活かして、環境循環型社会の構築を世界に広めることを目的に活動します。

寄附者からの声

寄附者：大和信用金庫

「大和川水系にいきつく源流を清掃する事業」に弊金庫の寄附金をご活用いただきありがとうございました。啓発活動を続けていただくことで子どもたちの大和川に対する意識が高まり、大和川の水質向上につながることが期待いたします。

団体名 特定非営利活動法人 吉野・千年の森

所在地 吉野郡大淀町北野94-7

活動の様子
(杉で創ったお土産)



【団体の設立経緯・目的】

山や川を清掃し、自然環境を保護してその公益的機能を維持し、吉野を「憩いの場」にすることを目的とする。

【団体の主な活動の内容】

山を清掃しきれいな水を育み、日本の美しさと吉野林業の重要さを発信する。また、吉野林業の後継者を育成する。

テーマ設定型

寄附者：大和信用金庫

テーマ：大和川水系の水環境改善事業

大和川源流域及び支流の整備事業

補助金額
178,840 円

補助事業の背景と目的

全国的に水質が悪いことで知られる大和川。一般市民、地元住民、NPOとの協働で、源流域及び支流を整備しました。これらの取り組みは、県民の、大和川をきれいにする意識も高めることができ、美しい大和川を守ろうと認識させられると考え、この事業を行いました。

補助事業の実施内容

昨年に引き続き、天理市長滝町にて、大和川源流域のごみ（不法投棄を含む）撤去、土砂、倒木、切り株等の除去を行いました。地域NPO・天理市等さまざまなセクターとの協働で進めることが出来ました。



▲活動の様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

自ら住んでいる県内の大和川の環境も整えることで、川をきれいにすることが当たり前であることを伝えることができました。今後もこの活動を継続することで、県民のみなさんに川を大切にす意識を持っていただくことができると考えております。また、奈良県は川がきれいな県として近畿の源流の川を守っていききたいというきっかけになると考えます。



▲倒木

寄附者からの声

寄附者： 大和信用金庫

「大和川源流域及び支流の整備事業」に弊金庫の寄附金をご活用いただきありがとうございます。この事業により大和川支流の環境が整備され、さらに地域のみなさまの環境保全への意識が向上したことをたいへん喜んでいます。

団体名 特定非営利活動法人 奈良NPOセンター

所在地 奈良市角振新屋町8 ASACOMビル2F

活動の様子
(撤去作業)



【団体の設立経緯・目的】

奈良をもっと元気に、より良い社会にしていこうとする活動を応援するため、2001年に設立いたしました。

【団体の主な活動の内容】

- ・ NPO活動の支援
- ・ ネットワークづくり
- ・ 担い手を育てる
- ・ ソーシャルビジネスをサポート

寄附者：財団法人奈良県青少年会館
 テーマ：青少年の健全育成事業

ふる里まちづくり事業「とんど焼き」

補助金額
125,000円

補助事業の背景と目的

「とんど焼き」を佐保台地域の子どもの祭りとして位置づけ、伝統と文化の醸成、青少年の健全育成に寄与することを目的とします。

補助事業の実施内容

講師を迎え、とんど焼きのいわれや風習を子どもたちに伝え意見交換し、会場設営、子どもたちによる準備（土俵づくり及び薪の木組み）、模擬店、灰処分の穴掘り、マシュマロ焼き、焼いも等のふるまい等を行いました。



▲とんど焼きの説明をする講師

補助事業の成果と今後の活動に向けて

事業に参画した子ども達は、計画から参加し、子ども目線の意見を出し合い、それを取り入れて実施しました。良かった点、改善すべき点を総括することにより、青少年の自覚と責任を果たし、健全育成を図ることが出来ました。




▲マシュマロ焼きを楽しむ子どもたち

ひとこと

青少年・社会活動推進課

伝統と文化の醸成と、青少年の健全育成を兼ねて事業を実施されました。今回の活動を活かし、青少年の自覚を促し、責任を果たす貴重な経験を重ねられるよう、事業を継続して実施されることを期待します。

団体名	佐保台地区自治連合会	【団体の設立経緯・目的】
所在地	奈良市佐保台 2 丁目 902-239	単位自治会相互の親睦を深め、明るい文化的な生活を築くために単位自治会共通の問題解決に努め、住民福祉の増進を図ることを目的とする
活動の様子 (地域の人たちとの交流の場)		【団体の主な活動の内容】
		① 安全で安心して暮らせるまちづくり ② 各種団体とさらなる連携を図る ③ 子どもや高齢者に優しい街づくり ④ 「住んで良かった」と思える「ふる里まちづくり」

テーマ設定型

寄附者：財団法人奈良県青少年会館
テーマ：青少年の健全育成事業

自然体験活動 ひまわりキャンプ

補助金額
170,492円

補助事業の背景と目的

日々、生活が便利になってきている中で、自然キャンプを通して衣食住の基本的な生活を自分たちで考えるとともに協力して作り上げていくことで、達成感や仲間との協調性を学ぶことを目的とし、教員・保育士を目指す学生達が主体的に活動内容や企画に取り組める環境づくりをし、貴重な経験をたくさん取り入れました。

補助事業の実施内容

様々な自然体験活動をしたり、仲間とともに生活することで達成感を味わったり、協調性を身につけました。また、豊かな自然の中で自炊体験、アスレチック、キャンプファイヤー、レクリエーションなどを企画し、アウトドア体験を楽しみました。



▲キャンプファイヤーの様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

子どものコミュニケーション能力の向上、及び各学生の教育・保育経験につながるとともに1泊2日を共に過ごすことにより、仲間意識・絆を感じ深めることができました。テーマソングをみんなで歌うことにより心がつながり、楽しい思い出・経験となりました。次回を楽しみにしているとの声が多く、毎年恒例の行事としてほしいという意見も多くでています。



▲事業の様子

ひとこと

青少年・社会活動推進課

子ども達が達成感を感じ、仲間との協調性を学ぶことができる事業を実施されました。このような素晴らしい環境は子ども達にとってとても重要なので、事業を継続して実施されることを期待しています。

団体名 特定非営利活動法人 おひさまひろば

所在地 桜井市河西 239-6

活動の様子
(ひまわり
キャンプの
様子)



【団体の設立経緯・目的】

平成11年に親子ふれあいイベント活動開始より結成。平成21年より認証され、NPO法人として活動

【団体の主な活動の内容】

子育て支援事業・障害児支援事業・地域交流事業・レクリエーション支援事業

みんなでつくる！やさしい奈良観光MAP！

補助金額
200,000 円

補助事業の背景と目的

本事業は他者の気持ちを考える機会を子どもたちに持たせたいという学生の思いから始まり、具体的な事業へと始動していきました。
 また、本事業は車いすの人の気持ちを考えながら地図を作るために調査することによって、小学生や保護者の方々に自分の住んでいる地域のバリアフリーについて考えてもらい、助け合いの気持ちを持ってもらうことを目的としました。

補助事業の実施内容

小学生2名と保護者2名、大学生で奈良町を車いすに乗って調査しました。ならまちチェックシート（地図）に子どもが感じたことを書きこんだり、ipadを使って写真を撮ったりしました。
 大学生と東京のNPO法人Check、関東学院大学の学生とともに奈良町の飲食店に聞き取り調査を行いました。調査では乳幼児や高齢者への食の対応、ハラルフードや国際的な宗教食のことまで幅広い内容を伺いました。また、車いすに実際に乗って店に入れるか確認したり、店の方のサービスに対する思いなどを聞いたりしました。
 収集した情報から車いすでの観光を楽しめるルートや提案、車いす対応トイレの場所やおすすめの観光スポットを示した地図を作成し、奈良市内の観光案内所に置いていただいています。

補助事業の成果と今後の活動に向けて

調査する中で、各施設や各飲食店でバリアフリーを考えサービス対応をしていることがわかりましたが、そういったサービス対応の情報を提供している地図や機会は少ないと思われます。県と各施設、各飲食店が協力すればもっとどんな人にもやさしい観光地になると感じました。
 その情報発信のひとつとして、本企画で“やさしい

い奈良観光マップ！”を作成できたことは大きな成果だと思います。子どもたちや大学生とともに作成したこの地図を観光センターなどに配布し、少しでも多くの人に奈良観光を楽しんでほしいと思います。



▲観光マップ

ひとつこと

青少年・社会活動推進課
 車いすの方も安全に観光を楽しむことができる地図を作成されました。この地図を目にすることで、バリアフリーの意識も高まり、より住みやすい街になると思います。

<p>団体名</p>	<p>奈良教育大学 ボランティアサポートオフィス学生スタッフ</p>	<p>【団体の設立経緯・目的】</p>
<p>所在地</p>	<p>奈良市高畑町</p>	<p>2007年に奈良教育大学に設立された、学生が主体となってボランティア活動をする学生団体です。</p>
<p>活動の様子 (活動する学生達)</p>		<p>【団体の主な活動の内容】</p> <p>防災減災を考える「KYOU-YOU プロジェクト」や CO₂ 削減と福祉活動「あいふた from 奈教プロジェクト」など。</p>

テーマ設定型

寄附者：財団法人奈良県青少年会館
テーマ：青少年の健全育成事業

親子で学習する防災研修（ロケットストーブを作ろう！）

補助金額
154,057円

補助事業の背景と目的

子どもたちがワークショップ（ロケットストーブ作りなど）を通じて防災教育に主体的に取り組むことにより、親子や地域間での防災意識の向上を目指すことを目的とした活動です。

補助事業の実施内容

東日本大震災時に多くの人命を救い大活躍したロケットストーブ作りを行い、集会所や学校など地域の防災拠点となる施設への配布を行いました。また、地震直後は食べ物等の不足が予測されることから子どもたちが畑で育てた食材を使用した炊き出し訓練を実施しました。



▲ワークショップに参加する子どもたち

補助事業の成果と今後の活動に向けて

ワークショップを通じて防災教育について学習することにより、子ども達と地域の方々の地域交流や防災意識の向上につながりました。今後、機会があれば、制作したロケットストーブを活用し、有事の際に役立つ防災知識を多くの人に伝えて行く取り組みを実施します。



▲活動の様子

ひとこと

青少年・社会活動推進課

地域の方々の防災意識を高めるために事業を実施されました。地域の交流を深めながら事業を実施することが、助け合いの意識を高め、事業の成功に繋がったと思います。今後もこのような活動の継続を期待しています。

団体名

ｽｰｯ少年団 大淀フェニックス

所在地

吉野郡大淀町中増 1591

活動の様子
（子どもたちが育てた畑）



【団体の設立経緯・目的】

野球を通じて心身の練磨とスポーツマンシップを理解させ、規律を重んじる明朗な社会人としての基礎を育成し、次代を担う人材の健全育成を図る。

【団体の主な活動の内容】

休日を中心とした集団による反復練習。
大淀ｽｰｯ少年団及び奈良県軟式野球連盟への協力及び大会への参加。
大淀ｽｰｯ少年団主催救急救命訓練への協力

寄 附 者：一般寄附

テ ー マ：NPO・ボランティア活動における課題解決に向けた事業

出会いウィーク NPO・ボランティアフェスタ

補助金額
287,215 円

補助事業の背景と目的

最近の内閣府のNPO調査では、NPOやボランティア活動を経験した人も約25%に止まっています。まだまだその経験のない人も多く、その経験のない人の大きな理由に、NPOやボランティアと出会う機会がないことをあげています。この出会いウィークでは、これまでNPOやボランティアに出会う機会がなかった人がNPOやボランティアと出会う機会をつくりました。

補助事業の実施内容

9月の準備会から5回の実行委員会で準備を行いました。当日は、参加団体によるステージでの活動アピール、展示ブースでの活動紹介、講座室での活動のデモンストレーションを行ってもらい、当日の一般参加者には、参加団体でのボランティア体験をしてもらいました。



▲ワークショップ形式の実行委員会

補助事業の成果と今後の活動に向けて

当日の運営ボランティアは150名以上ありました。また、当日は大学生のボランティア参加があり、若い世代がいろいろな場面で活躍してくれたのが頼もしく思えました。活動趣旨に賛同してくれる報道機関も多く、事前報道は新聞社3社とNHK奈良TV・KCN放送があり、事後報道も2新聞社が取り上げてくれました。いくつかの団体から次回の自分たちの活動に参加してくれる人を確保できたと喜んでもらえました。



▲ボランティア体験

ひとこと

青少年・社会活動推進課

人材不足に悩む団体が少なくない中、ボランティアに関心のある人と、NPOやボランティア団体との出会いの場を設ける事業を実施されました。今回の活動でボランティアに参加する人数が増加したことから、この事業の継続を期待します。

団体名 特定非営利活動法人 奈良NPOセンター

所在地 奈良市角振新屋町8 ASACOMビル2F

活動の様子
(活動後の
ボランティ
アスタッ
フ)



【団体の設立経緯・目的】

2001年の設立以来、奈良をもっと元気に、より良い社会にしていこうとする市民活動を応援しています。

【団体の主な活動の内容】

NPOの運営支援、NPOの普及・啓発
行政・企業とNPOとの協働推進
担い手育成
ソーシャルビジネスの支援

テーマ設定型

寄附者：一般寄附

テーマ：NPO・ボランティア活動における問題解決に向けた事業

NPO 未来プロジェクト Link Ship Seminar

補助金額
248,300 円

補助事業の背景と目的

現在多くのNPO法人やボランティア団体が抱える課題の1つに「事業の継続」があります。特にNPO・ボランティア活動が広く社会に定着した現在、社会の細微なニーズを満たす事業や活動が多く、多様化する現代社会において各団体が担う役割は非常に重要です。各団体が“事業力”を身につけ、現在行っている活動を将来にわたって継続できる力を習得することを目的として実施しました。

補助事業の実施内容

当事業では参加団体が事業力をつけるために、月1回の講座を通して①事業推進に必要な力をつけること、②他団体と協働できる接点をつくることの2つを行いました。ワークショップ形式を採用し、各団体の状況にカスタマイズする一方で、他団体とコミュニケーションをとり、実用方法について知識を深めることができる状況を目指しました。関係機関から報告されているNPOの課題を基にテーマを設け、それぞれのテーマを掘り下げる形で講座の組み立てを行い、各団体の課題解決に向けて具体的に取り組める講座を実施しました。



▲意見を交わす様子

補助事業の成果と今後の活動に向けて

半年6回にわたって12団体17名の方が参加されました。参加団体も認定NPO法人、NPO法人、社会福祉法人、任意団体等様々で、参加者層も20代から60代まで幅広い年齢層の方にご参加いただきました。これからのNPO活動や社会貢献活動を考える上で、このような異年齢間での交流の機会ができたことは非常に大きな意味があります。各回10人前後と少人数の講座で距離が近く、団体の課題を共有したり、アドバイスや質問したりする機会が多く、団体の課題解決を大きく進めることができました。まだまだNPOやボランティア団体の課題は多く、内容も多岐にわたっています。今後もこのような講座の必要性が再認識でき、この講座がそれらを行う1つのスタートとなったと考えています。

ひとこと

青少年・社会活動推進課

NPO法人の継続の力を養うための事業を実施されました。

地域の課題解決のためにはNPO法人の活躍は欠かせないものです。NPO法人の課題を解決できるような事業を継続していただくことを期待しています。

団体名 特定非営利活動法人 AtoMs

所在地 奈良市三碓三丁目2-41-103号

活動の様子
(イベントの様子)



【団体の設立経緯・目的】

2014年に生まれた1人1人の“やりたいこと”“やってみたいこと”をカタチにするNPO法人です。

【団体の主な活動の内容】

青少年育成活動を中心として、地域教育や社会活動の企画、各団体の運営をお手伝いしています。